



有用微生物群（EM 菌）を活用した街づくりの事例を紹介する講演会（つるぎ町消費者協会主催）が28日、同町貞光の町就業改善センターであり、地域住民ら約150人が耳を傾けた。

EM菌を研究する比嘉照夫琉球大学名誉教授が講演した。EM菌には抗菌作用があり、土に混ぜるだけで簡単に植物の栽培に適した土作りができることを紹介。埼玉県戸田市など緑にあふれた町並み

が評判を呼んだ事例を挙げ、「EMを使って花や緑を育て、街の活性化に役立ててほしい」と活用を呼び掛けた。（吉松美和子）



EM菌を活用した街づくり事例を紹介する比嘉名誉教授（つるぎ町の町就業改善センター）

EM菌活用街に緑を

つるぎ 研究者、事例を紹介

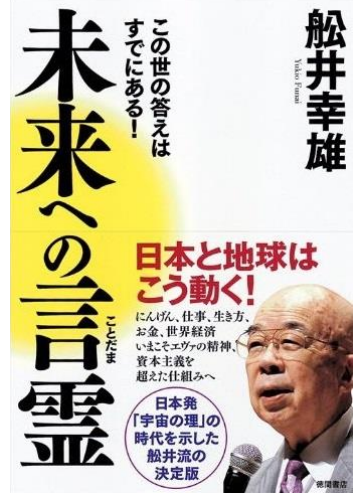
EM に関連する新聞記事を二件紹介いたします。

一件目は1月28日に徳島県つるぎ町消費者協会主催で開催された比嘉教授の講演会を取り上げた1月29日付徳島新聞朝刊です。

もう一件は2月2日付沖縄タイムス朝刊で、EM・X GOLD のパッケージがリニューアルしたことや、昨年12月から新たにタイへの輸出が決まったことなどが解説されています。

◆◆◆書籍紹介◆◆◆

船井幸雄著、未来への言霊、徳間書店、1,680円



1月19日に逝去された船井幸雄さん最後の著書。

著者の哲学と未来への指針を綴る中、本物の時代のひな形として「EM」と比嘉教授が取り上げられています。

比嘉教授による本書紹介文を以下に記します。



EM研究機構（北中城村、安里勝之社長）は、微生物の発酵作用を利用したEM発酵飲料「EM・X GOLD」のパッケージをリニューアルした。

2007年の発売以来、350万本を販売。年間60万本の生産のうち約7%を中国やマレーシアなど、13カ国に輸出している。昨年12月、新たにタイへの輸出が決まったことで「沖縄らしさ」をコンセプトにしたパッケージに刷新した。

リニューアルに合わせ、新たに350ミリサイズ（税込3300円）を設けた。

安里社長は「沖縄らしさを売りに販売を強化し、沖縄ブランドのイメージ向上につなげたい」とPRした。

EM発酵飲料
新パッケージ
EM研究機構

ケースには、カカオ豆の皮や段ボールを再利用した再生紙を使い、海の生物や草花など、沖縄らしさをイメージさせる柄をデザインした。健康意識の高い女性客や、アジア客への販売促進につなげる。

船井さんが、初めて出版祝賀会を認めた本書は多くの人々が納得する「未来への言霊」であり、人生の生き方の極意がくり返し述べられており、いつの間にか、すべてを包み込んでいる。

船井さんの生き様は、「未来への言霊」の通りである。ここまでやれるのかという畏敬の念を抱せるものであった。「その答えはすでにある！」「世の中の仕組みは変わった！！」「地球の理から天の理へ」その言葉は「未来への言霊」のキャッチフレーズであり、自然と共に生きることを旨とする日本人の本質をゆさぶるものである。したがってこの本は、すべての日本人の必読本にすべきものであり、正に未来への言霊である。

◆◆◆◆◆ イベントのお知らせ ◆◆◆◆◆

■全国 EM 技術交流会 東北大会 in 七ヶ浜

【日時】 3月15日(土)、開場 12:00、開演 13:00、閉会 17:30 【場所】 七ヶ浜国際村ホール

【参加費】 前売り1,000円、当日1,500円 【お問合せ】 0229-23-2967(東北EM流通センター)